

異色の白塗り男女デュオ、ドレスデン・ドールズがプロモ来日!

フジロック参戦後に完成させた最新作について、インタビューを敢行!

——「イエス、ヴァージニア」を聴いて、「ちょっとおてんばな少女」をイメージしました。おしとやかではないけれど、可愛らしく元気でキャッチーなサウンドだからです。

アマンダ・パーマー (以下AP)：確かに純粋な少女を思い浮かべるかもしれない。だけど、収められている曲の内容はとてもパーソナルなもので、ちょっと卑猥な

ところもあって、ひねくれた性教育という感じに捉えられることもあるの。性転換やオルガズムという言葉も使われているしね。無垢な少女には刺激が強すぎる表現があるけど、良い悪いは別として「人生にはこういったこともあるのよ」という教訓を理解してもらえないんじゃないかと思うわ。

——プロデューサーにレイディオヘッドやピクシーズで有名なショーン・スレイドとポール・Q・コルデリーを迎えていますね。

AP：まず完成した1stアルバムをショーンに送ったの。「これを聴いて、もし興味が湧いたら連絡をください」って書いた手紙を添えてね。暫くしたら本当に彼から連絡が来て、ライブも見に来てくれた。ショーンは私達のことを気に入ってくれて、彼のスタジオでレコーディングする誘いをくれたわ。何曲かレコーディングした結果、次のアルバムのプロデューサーはショーンしかいないと思って、彼にお願いしたの。

ブライアン・ヴィグリオーネ (以下BV)：ショーンは僕らのために色々してくれて、フジロックにも付いて来てくれた。もちろんポールも素晴らしい人だけど、ショーンとはより親密な関係なんだ。あのふたりは25年も組んでいるから夫婦みたいにツーカーの仲で、本当にグルーヴのあるコンビだよ。

——あなた達を他の人に紹介する際、どういう音楽を

演っていると紹介すれば良いでしょうか。

AP：演劇音楽とアグレッシブな音楽を融合させた“パンク・キャバレー”というジャンルを作ったんだけど、それが私達の音楽を一番的確に表していると思うわ。とにかく“良い音楽”と紹介しておいて(笑)

BV：そうそう(笑)



NEW ALBUM 5/10 on sale

イエス、ヴァージニア

CD: RRCY-21259 ¥2,548(税込)

※日本盤のみボーナス・トラック2曲追加収録



- ① セックス・チェンジズ
- ② バックスタバー
- ③ モダン・ムーンライト
- ④ マイ・アルコホリック・フレンズ
- ⑤ デイライヴ
- ⑥ ダーティ・ビジネス
- ⑦ ファースト・オルガズム
- ⑧ ミシズ・オー
- ⑨ ショアーズ・オヴ・カリフォルニア
- ⑩ ネセサリー・イーグル
- ⑪ マンディ・ゴーズ・トゥ・メッド・スクール
- ⑫ ロンサム・オーガニスト・レイブス・ベイジ・ターナー
- ⑬ トゥー・ヘッデッド・ボーイ
- ⑭ ミー&ザ・ミニバー
- ⑮ シング

*日本盤ボーナス・トラック